

## 経営理念

私たちは「ものづくり」に精励し、  
お客様の信頼と期待に応えます。

私たち大貫木材工業株式会社の社員は、製造メーカーとして「ものづくり」にこだわりをもち続けます。そして優れた「ものづくり」を通じて、お客様に貢献し、社会に貢献し続けたいと思っています。

## 行動指針

私たちは、経営理念に掲げた理想を実現するために、規範とする行動指針を定めました。

「行動」 優れた提案力と実行力で行動します

「成長」 明るく元気に、常に成長します

「感謝」 私たちを支える人々に感謝します

## 沿革

木製型枠の製造開始から半世紀。  
経験に裏打ちされた確かな技術力と豊かな発想力により、工場直販体制を確立しました。  
お客様に信頼され、期待される企業を目指し、更なる品質向上に取り組んでまいります。

## 創業期

昭和 10 年：大貫定平、製材・木履製造業を個人創業  
昭和 20 年：(有)大貫木工所設立  
昭和 34 年：木履製造中止、木製型枠製造開始  
昭和 42 年：合板型枠製造開始

## 成長期

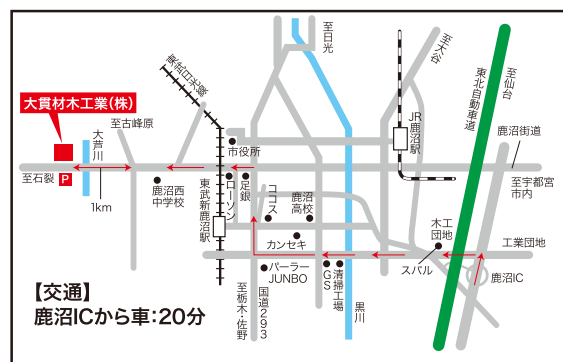
昭和 47 年：プレハブ住宅用パネル / 部材、製造開始  
(有)大貫木工所を大貫木材工業(株)に改組  
大貫丈夫、代表取締役に就任  
製材工場棟新築  
昭和 48 年：第一加工工場棟新築  
昭和 49 年：プレハブ住宅建築部門操業開始  
昭和 50 年：会議室休憩室棟新築  
昭和 53 年：第二加工工場棟新築  
昭和 56 年：事務所棟新築  
昭和 57 年：プレハブ住宅建築部門を分離独立し、  
(有)オーエム住宅設立  
昭和 61 年：第三加工工場棟新築  
昭和 62 年：第四加工工場棟新築  
昭和 63 年：第五加工工場棟新築  
平成 3 年：設計部門に CAD/CAM システム導入  
平成 4 年：乾燥工場棟新築  
平成 7 年：会議室休憩室棟新築 第六加工工場棟新築  
平成 12 年：事務所等新築  
平成 15 年：木造住宅用パネル / 部材製造開始

## 発展期

平成 16 年：大貫健治、代表取締役に就任  
平成 20 年：経営理念を定める  
平成 20 年：全社にて人材教育の取り組みを開始  
平成 27 年：創業 80 年を迎える



商 号 大貫木材工業株式会社  
代表取締役 大貫健治  
資 本 金 1,000 万円  
創 業 昭和 10 年  
会社設立 昭和 47 年 12 月 16 日  
従業員数 役員 5 名 従業員 40 名  
営業品目 I. 建築・土木用型枠の製造販売  
II. 住宅部材の製造販売  
工場敷地面積 12,000 ㎡  
取引銀行 足利銀行鹿沼支店



本社工場 / 栃木県鹿沼市加園 548 〒322-0252  
TEL.0289(62)7345(代) FAX.0289(64)1651  
URL.www.onuki-mk.co.jp

# 型枠

営 業 案 内







弊社は、昭和10年に製材工場として創業いたしました。その後、昭和34年に木製型枠の製造に着手して以来、「一貫生産体制」をとる型枠工場として今日まで歩み続けてきました。その一方で、昭和47年から生産を開始した住宅用パネルは、住宅の工業化の流れのなかで成長し、現在では当社の大きな柱となっております。創業以来80年を越える豊富な経験に裏打ちされた確かな技術力と豊かな発想力こそが、私たちの技術の源泉であると確信しているところです。

近年ますます深刻化する人手不足や、環境問題の中、当社が手がけている型枠・住宅のパネル事業は、現場の省力化と、さらに廃棄物の削減の切り札として、ますます注目されています。

どんなに技術が進化しても、建物や構造物に合わせてつくる型枠・住宅パネルは、多種多様な大きさや形状のため、製造工程を機械化することには限界があり、現在もその工程の大部分は、人の手によって形づくれます。だからこそ人材力と技術力を受け継ぎ、磨き続けることを大切にしています。

そこで私たちは、さらなる成長を目指して、『私たちは「ものづくり」に精励しお客様の信頼と期待に応えます。』という経営理念を定めました。

私たち大貫木材工業は、これからも社員一同が力をあわせて経営理念を実現し、型枠・住宅パネル事業のさらなる成長を通じて、社会に貢献してまいります。



代表取締役  
大貫 健治



## 自社製造

豊富な経験と優れた技術、そして飽くなき探究心から生み出された独自生産システム。私たちは時代のニーズに合った精度の高い『型枠』をつくるために、変化を恐れず日々進化し続ける一方で、絶対に変えられないこだわりを持っています。それは『型枠がつくれる会社』でも『型枠もつくれる会社』でもなく、『型枠をつくる会社』であること。型枠のスペシャリストとして、品質にこだわり、その品質を保つために設計・製材・加工・組立まで一貫して自社製造にこだわる。この揺るぎないポリシーがこれからも皆様に信頼と安心をお約束いたします。







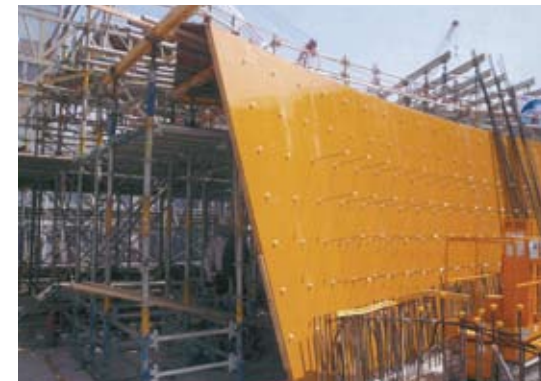
建築

建築

## 円形パネル

これからの街づくりに欠かせない  
滑らかなフォルムを描く建造物  
曲線の美しさは、人の心を和ませます

設計者が思い描いたとおりの建造物に仕上げるために、滑らかなフォルムを描くようつくられた精度の高い円形パネル。形状が複雑になればなるほど、スペシャリストである私たちの技術が生かされます。



■小金井市民交流センター(施工現場)



■小金井市民交流センター(完成)



■(株)ナカニシR&Dセンター(CADによる型枠設計)



■(株)ナカニシR&Dセンター(施工現場)



■多摩美術大学八王子キャンパス図書館棟(完成)

### NC(数値制御)バンドソー

数値制御プログラムに基づいて円形パネル用の楕板を正確に加工することが出来ます。



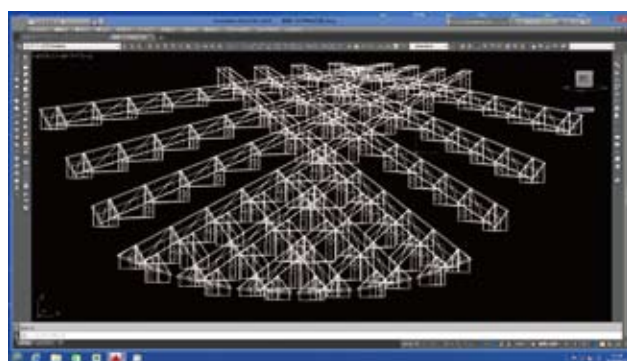


## 特殊パネルの加工技術が可能性を広げ 建造物の表情をより豊かにします

直線と曲線を組み合わせた、複雑な形の型枠をつくるには高度な加工技術が必要です。長年にわたり『型枠』を追求し続けてきた当社独自の設計・生産システムにより、あらゆる形状の建造物を可能にしました。



■ヤマザキパン中央研修所兼研修センター(施工中)



■ヤマザキパン中央研修所兼研修センター(CADによる型枠設計)



■ヤマザキパン中央研修所兼研修センター(完成)



■早稲田大学所沢キャンパス(施工中)



■早稲田大学所沢キャンパス(完成)





建築

## 平パネル

### 使えばわかる高品質 優れた耐久性が多転用を可能にしました

当社の平パネルは形状に応じて釘の種類や釘ピッチに配慮して組立てられます。そのため耐久性に優れ、多転用することができるため、追加発注のコストを削減できます。一見、同じように見えても当社の平パネルの品質の違いは現場で実証されています。



■自動板貼機(作業現場)



■壁パネル  
(四方枠)

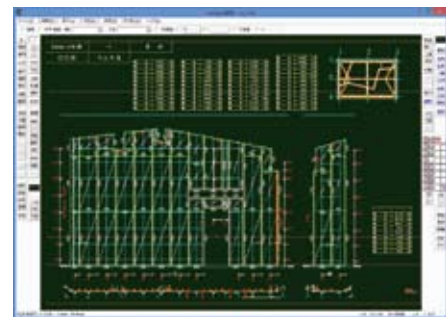
■壁パネル  
(三方枠)

■柱パネル



■梁側パネル

※その他、どんな加工にも対応いたします。



### 平パネルの拾い出し

現場の忙しい職長さんを悩ませるのがパネルの拾い出し。当社では施工する大工さんとの細部にわたる打ち合せに基づいて、現場施工図のCADデータを利用した平パネルの展開図・加工図の作製を行います。



■完成した平パネル

建築

## 階段パネル

### 上下階をつなぐ美しい傾斜は 空間演出に欠かせないシンボリックな存在

建物に合わせ適切な勾配を保ちながらデザインされる階段は形状も様々。複雑な要素の多い階段加工の場合、良いものを仕上げるためには熟練工でも多くの時間とコストがかかります。それらの悩みを解消し、安定した品質をお約束できるのが当社の生産システムです。



■階段パネル



■廻り階段パネル

建築

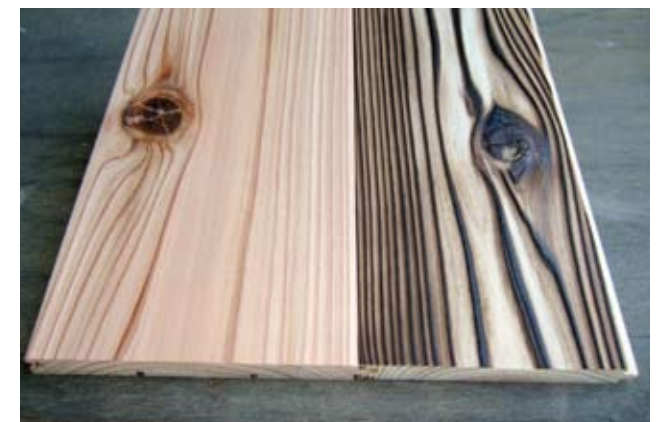
## 杉本実パネル

### 杉板の持つやわらかな木目の美しさは 安らぎを与えます

丸柱やその他の形状、浮造りや焼き浮造りなど、あらゆる加工が可能です。設備の整った工場ならではの精度でお応えします。



■杉本実柱パネル



■杉板 左：浮造り 右：焼き浮造り





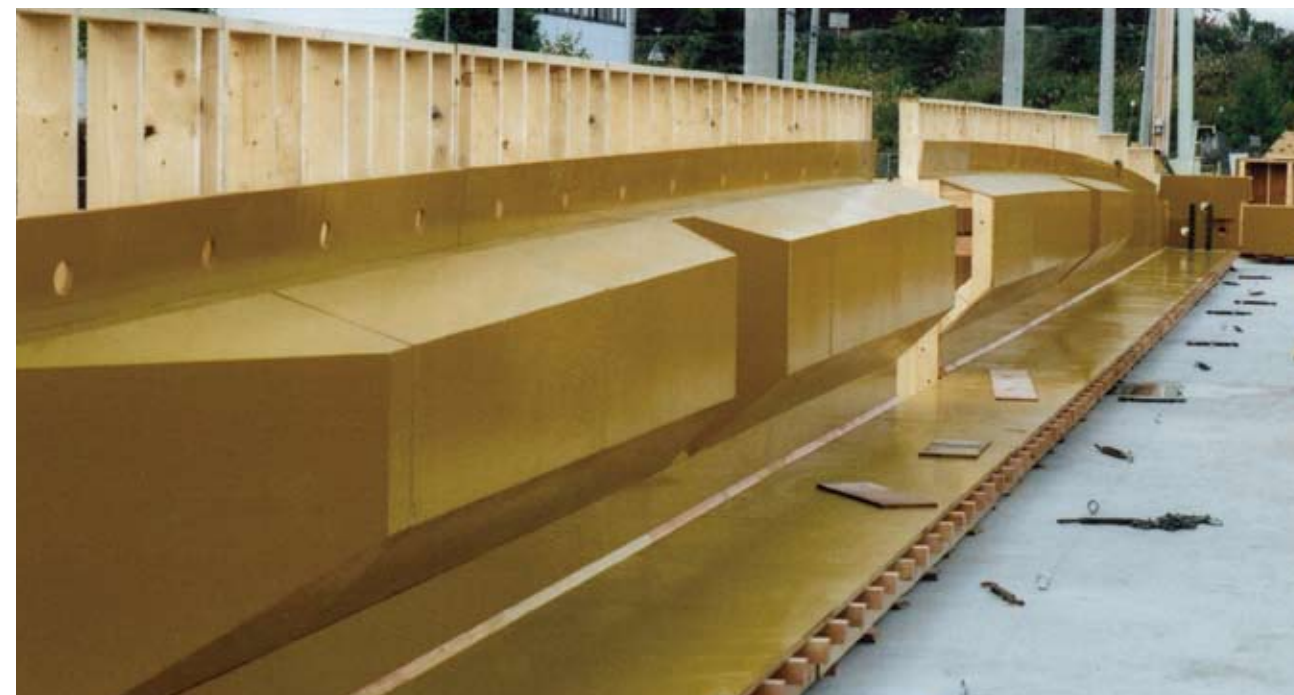
土木

土木

## 高架橋パネル

### 滑らかに弧を描く高架橋 力強く美しいフォルムを形づくりします

大型の構造物である高架橋は街の景観を一新する存在です。当社のパネルなら品質のムラから生じる様々な不具合を解消し、安全も考慮しつつ工期の短縮を可能にします。



■T桁 側枠・底板(施工中)



■ボックス桁 内枠(施工中)



■渡良瀬第一高架橋(施工中)



■T桁妻枠



■コーン座



■小口枠



土木

# 橋脚パネル

## 曲線を多用する橋脚デザイン 滑らかな美しさと頑強な構造が私たちの 暮らしを支えます

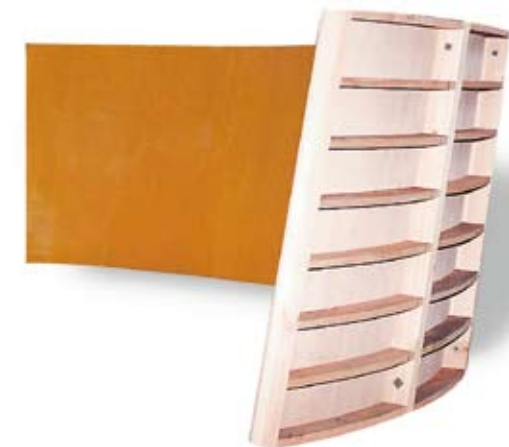
昨今では『支える』という役割だけではなく、風景との調和も求められる橋脚デザイン。直線に加え、円錐や楕円、放物線など、曲線を多用したデザインが主流になってきました。当社では常に、構造物の仕上がりをイメージし、よりクオリティの高い完成形へと導ける型枠の製作に取り組んでいます。



■第二東名高速道路太田橋(施工中)



■尾瀬大橋(施工中)



その他

## PC工場用 パネル

## 品質を安定させ工期やコストを削減できるのが 工場加工用木製型枠

しなやかで加工のしやすい木製の型枠は、従来、主流であった鋼製型枠では対応できない細かな加工にも対応できます。完成品は精度が高く、狂いが少ないため現場でのジョイントもスムーズです。



■手すり型枠(マンション用)

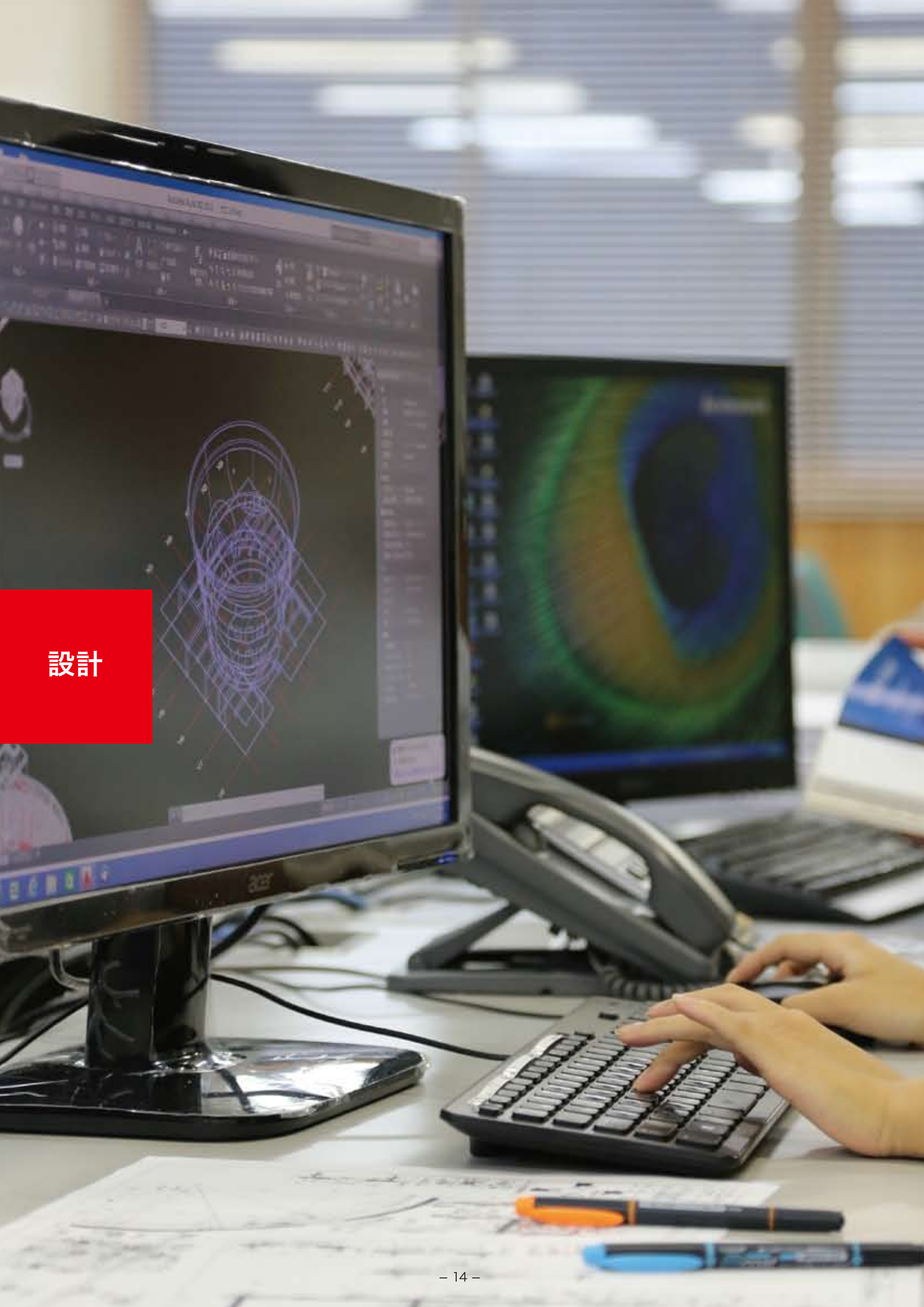


■階段型枠(日本青年館・日本スポーツ振興センター本部棟新営)



■パラベット型枠(横浜市戸塚区品濃町計画)

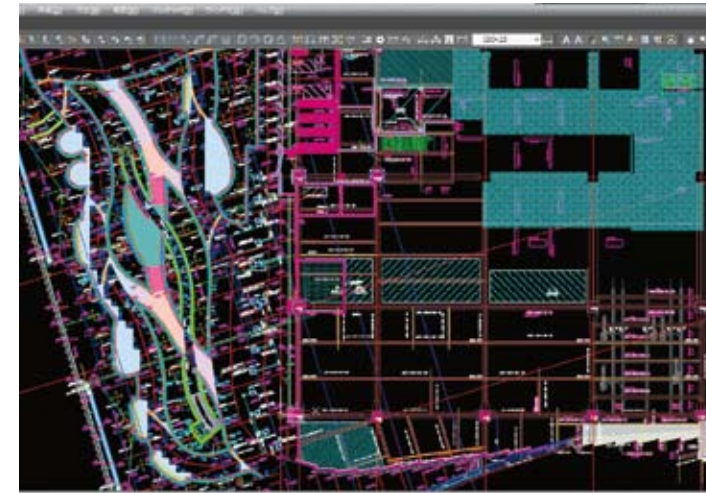




設計

## 当社専任スタッフによる CAD/CAM システム管理

### STEP.1



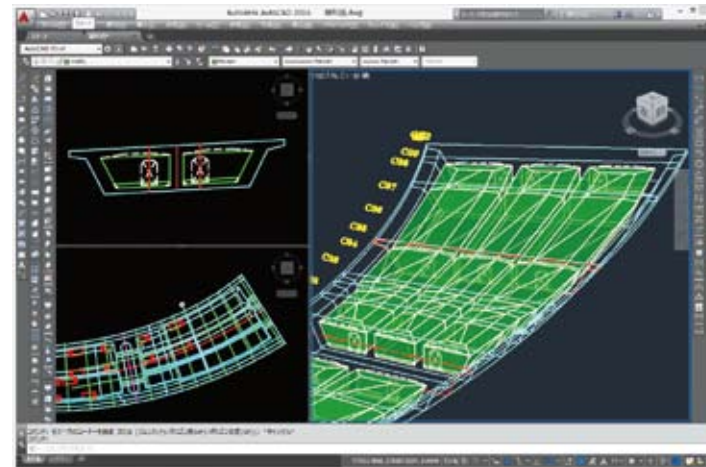
現場施工図

#### 現場施工図と当社 CAD/CAM とのシステム連携

現場で作成したCADデータを送信して頂くことで、大量の複雑な形状データであっても当社 CAD/CAMシステムと連携することができます。



### STEP.2



AUTO CAD

#### 当社 CAD/CAM システムによる立体的な形状解析

コンピューターで作成したデータを加工機械と連動させることで、高精度の型枠パネルの加工を実現します。2次元/3次元CADシステムを使用し、型枠パネルの割付図・加工図を作製します。複雑な形状の構造物には3次元CADを使い細部に至るまで解析します。

社内LAN

### STEP.3



NC (数値制御) ルーター

#### NC (数値制御) ルーターによる切削加工

NCルーターはCADシステムと連動して数値制御により切削加工する木工機械です。複雑な構造の型枠も精度よくかつ安全に加工することが可能です。